

**①本時までの授業（他クラスの様子）について**

**②本時の授業（他クラスの様子）について**

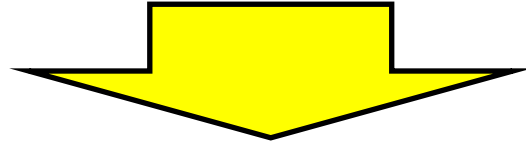
**③本時に対する生徒の考察について**

**④本時以降の授業（7時間目）について**

# ①本時までの授業

## 第5時

- ・ **衆議院議員選挙（参議院議員選挙）における投票率の推移が描かれたグラフと、最新の選挙における年代別投票率が描かれたグラフを提示。**



**Q：なぜ、若い世代を中心に投票率が低いのだろうか？**

- ・ **なぜ、投票に行かないのか、その理由を考える**
- ・ **投票率の低下が与える影響について考える**
- ・ **昨年から18歳に選挙権が引き下げられた背景を考える**

② 投票率の低下が与える影響とは...

- ・ 国民主権の考えが消れる。
- ・ 国が国民の総意の中でなく、一部の人の思いだけで動くことになる。
- ・ 選挙のための国の費用が無駄になる。 (国民の一部の独裁)
- ・ まわりの人に選挙ばなれが伝わる。

G4

← 地方

- \* 若者向けの政策が減り、  
さらに若者の興味が失われていく。
- \* 候補者の意欲が低下し、  
「この人だ!」という候補者がいなくなる。  
→ さらに関心がなくなる

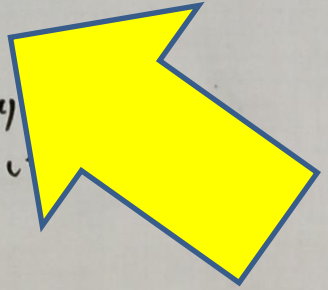
投票率の低下が与える影響とは?

- ・ 政治への意識が遠ざかっていく。
- ・ 適当な候補者にならない。
- ・ 一部の人の意見しか反映されない。

12

投票率の低下が与える影響とは?

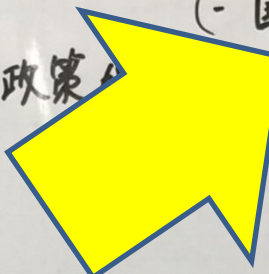
- ・ 国民の意志がわからない  
→ 民主政治の崩壊
- ・ 投票する人の年齢や性別により  
平等な世の中にならない



6 班

- ・ 国民主権ではなくなる
- ・ 参政権の放棄

8班

- ・ 一部の人の考えで政治が動くようになっていこう  
(反映されない) ↓  
(-「国民主権」が守られなくなる危険性?)
- ・ 政策が  動くようになっていこう (政治家視点)

5班

- 政治のやり方が変わる 10月-10月
- ↑ 独裁(果敢) 民主主義じゃなくなる
  - 選挙自体なくなる

- ・ 一部の人の意見しかはきかれない。
- ・ 日本の将来を担う若者の意見が  
はきかれない
- ・ 政策に 協力的にならな(い)。

6班

# 授業後の生徒の振り返り

投票率をあげる  
対策を何か取る  
べきだ。  
年代ごとの投票  
率を同じにして  
欲しい。

今日は選挙の投票  
率が少ないのは良く  
ないことだと思いま  
した。なぜなら、少  
子高齢化が進んで  
いる中で、若者の投  
票率が低下してくる  
と、高齢者の意見し  
か反映されないよう  
な国になってしまふと  
思うからです。

## <生徒の投票率に対する見方・考え方①>

- ・投票率の低下により、一部の人の意見しか反映されないから問題である。
- ・一部の人の意見で政治が行われるので、民主政治や国民主権が崩壊してしまう恐れがある。
- ・投票率を上げるための対策をとるべき。

## **②本時の授業 (他クラスの様子)**



# 投票率が高いことは良いことなのか？

投票率が高くても  
本人の意志がなければ  
意味がない。

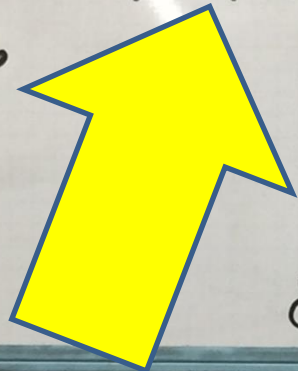
選挙に行くことだけが  
目的と化しているのなら  
選挙に行かない人と大差なし 6

いいとは  
限らない

・投票率が高くても、  
無効票(白票)が多ければ  
国の為にならないから。  
・立候補者にいい人が  
いなければいなくてもよい。  
・適当な票が多ければ、  
しっかりいれている人の意見が  
反映されないかも(決ない)

9

投票率が高いことは良いこと  
だが、選挙に対する意志が  
ないのであれば、意味のない  
ことだと思ふ。



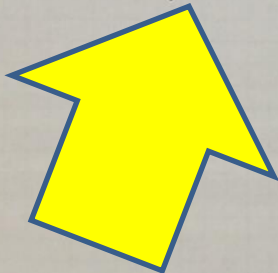
8

Q投票率が高いことは良いことなのかな?

- ・良い点
  - ・多くの人の意見反映できる
  - ・国と投票率が高い所を他国に見せつけることができる
- ・悪い点
  - ・無意味な票が多くなる
  - ・本来の選挙の目的が失われる
  - ・勝手に投票してしまう

10期

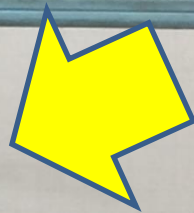
投票率が高いことは  
良いが、義務づけられたり  
強制的にするのは良く  
ない。



7期

いいこと だけど

ベトナムみたいなやり方だと、  
投票することが「方法」ではなく、  
目的になってしまふと思う。  
それでも 高いことは良いこと



1

・おまた意見が少なくなることで  
死票も少なくなってしまうのでは?

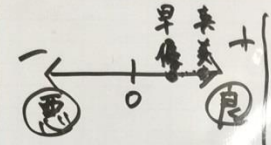
・実質的な投票率が低い

↳ これだけでは判断できない

・若くないで投票する人も少いのでは?

↳ 投票率が低くても  
政治への関心をもっと自ら高める

(0班)



・低いよりは良い

・白票でも関心がない訳ではな

↳ 一つの意見

→ 考えを示して良い訳じゃない

・ただ高いだけでは多くの人の考え、考えの質  
がどうと見えるとほいんない

→ 選挙の本質からしてどう思う

5班

○ 投票率が高いのは良いこと

↳ その過程がどうなっているか。

↳ 強制 → 正しい意見、誰も適当でいいという  
意見がある。↳ 反映される

↳ 多くの意見が反映される。↳ 白票

1班

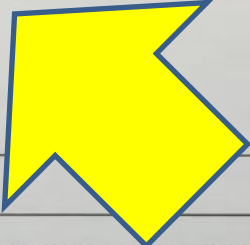
## <生徒の投票率に対する見方・考え方②>

- ・投票率の低下により、一部の人の意見しか反映されないから問題である。
- ・投票率が低いのは良くないことだが、高ければいいことだが、民主政治や国民主権が崩壊してしまう恐れがある。
- ・投票率を上げるための対策をとるべき。

# 「主権者としての私たちが 本当に目を向けていかなければならないこととは？」

氏名 (                      )

目を向けていかなければならないと考えたこと  
「自分に、選挙権がある」ということを自覚すること。  
何のために選挙するのかということ。  
意味切で。



## そう考えた理由

日本を見れば、選挙に行かない人がいたり、投票率が低い。国を見ても白票があつたりと...  
確かにその「1票」では、どうせ、何も変わらないかもしれないけれど、一人ひとりに選挙権が  
与えられているし、何らかの面で、政治に対して気持ちをもっているだろうし、それを出せることが  
大切なことだと思えたから。

# 「主権者としての私たちが 本当に目を向けていかなければならないこととは？」

氏名 (                      )

目を向けていかなければならないと考えたこと

選挙に対する責任(意識)



## そう考えた理由

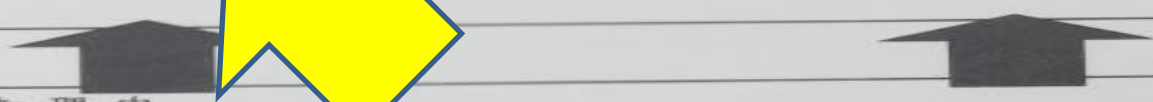
選挙をすることは、自分の意見を表明するための方法である。様々な意見がでる中で、どの意見も考え  
がよくて、悪いというものは無い。意見がぶつかり合う中で、いともかになつていく。選挙をするときは、その  
実現できる。「選挙をしなければ、私達の国はよくなっていかない」という意識をもたなければいけな  
い。と長田から。

# 「主権者としての私たちが 本当に目を向けていかなければならないこととは？」

氏名 (                      )

目を向けていかなければならないと考えたこと

政治への関心を高めていくこと。  
正しい選挙制度  
関心のある人に目を向ける  
法律+制度も変える必要があり



そう考えた理由

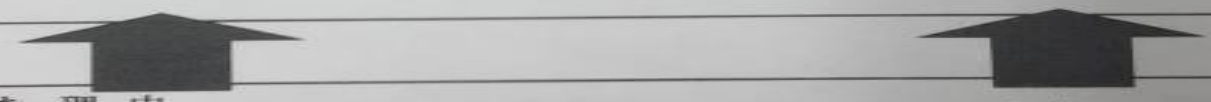
政治は私達国民のために代表者が決まってる。とされていることなのに、まず政治に対する関心がない。そういう人はへり下っていくべきだと思う。政治への関心が高ければ選挙での投票率もあがると思うし、人は皆一票が一人と投票するようになると思うから。またこれは主権者としてだけでなく、国民としても必要なことだと思う。

# 「主権者としての私たちが 本当に目を向けていかなければならないこととは？」

氏名 (                      )

目を向けていかなければならないと考えたこと

その国や地域が抱えている問題を理解し、その問題はどのようにして改善していかなければならないのか、ということ。  
→問題を自分自身が理解することで重みのある一票を入れることができる。



そう考えた理由

自分が住んでいる地域には、小さくても必ず問題は抱えていると思う。それは、環境のことであつたり、少子高齢化問題であつたり。その国や地域によって様々である。だからそこに住む私たちがその問題について目を向け、理解を深めていく必要があると思うから。また、問題を知っているだけでは意味がないので、自分たちができることを考え、それを実践しようとする。こうは者であつたり、問題を解決し、国をよりよくなっていくと思う。こうは者も、責任をもって支持していけば、よい社会が作れると思う。また、自分の身近にいる人など、その意見を交わし合うことで、相互に政治への関心を高めていけると思う。

- 票の大切さ
- 政治への関心を高める
- 正しい選挙制度
- 自分の意見をもつて政治に参加

## **③本時に対する生徒の考察について**

※考察は、できれば授業内で書かせたい(自己内対話の場面)。  
しかし、授業時間内が無理であれば家で書く。

生徒A

前回の授業では、投票  
で投票率の高い他国  
可しも良いことではない  
それは「代理投票」とい  
投票率だけ高くて「民  
民主主義ではない、選  
と思う。誰かに票を入  
いう考え方はなく自  
知るべきだと思う。  
また、ベルギーなど  
ようにして、それはふ  
れていることに反発し  
ていた。それでは意味  
る功にすることには、日  
足をはたてもらうこと

前回の授業では、投票率が低いこと=悪いと思っていたが、今日の授業  
で投票率の高い他国の選挙の様子を見て、投票率が高ければ  
可しも良いことではないと思った。特にベルギーは投票率は高かったが、  
それは「代理投票」という制度が認められているためだということに驚いた。  
投票率だけ高くて国民の一部だけが参加しているような状態では  
民主主義ではない。選挙をするということ自体の意味もなくなってしま  
うと思う。誰かに票を入れてもらえば自分も投票したことになるからいいやと  
いう考え方はなく自ら投票所へ出向き、投票することの大切さを  
知るべきだと思う。

また、ベルギーなどで投票に行かないに罰金をかせていたり、昇進させない  
ようにして、それによって投票率は上がっている。しかし、その分、強制させら  
れていることに反発せ、かく投票にきても、自票を投票する人が  
ていた。それでは意味がないと思うから、99%の人がよい気持ちで投票して  
る功にすることには、日本と同様に任意投票制で、強制せずに投票所  
足をはたてもらうことが大切だと思う。



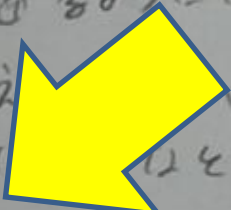
# 生徒B(一部抜粋)

以前は、投票率は高いほど「良い」と  
思っていたけど、授業を通して、TVだけ  
を見て良い悪いを決められることでは  
ないことが分かりました。やっぱり、主権  
者は、主権者として政治に関心を持ち、  
自分の意見をもち、自ら投票に行くべき  
だ」と思います。そんな有権者が増えれば、  
ちゃんとした、意味のある選挙に  
なると思いました。投票率だけでは判断  
できない難しさを知ることができて良かった  
です。

# 生徒C(一部抜粋)



私は今回の授業で考えが大きく変わりました。  
投票率が「高ければいい」とは人の意見が反映されて  
より良くなると思ってました。けれどオーストラリア、ベル  
ギーの義務化について話を聞いたとき本当に高け  
ればみんなの意見が通るようになるのだと思うかと思えま  
せぬと思いました。そう考えるとやはり自分の意志が  
大切になってくるのではと思います。  
この際でこそは前日も考えていて、一歩のステップにつ  
いて主催者の希望や要望はもとめて考えていました。  
そこから投票率をいこうという点では考えが変わったが、  
その根本にある主催者の年相の課題ではいっしょの  
考えによっていいのではないかなと  
選挙の授業を通して思いました。



**見方・考え方  
が作り変えられてい  
く様子**

## 生徒D(一部抜粋)

投票率が高いのが良いと思っていたが、高くても無効票や意見をもっていないのでは、全く意味がないと思った。その点でいえば、日本は意見をもっている人が、投票を行うので、クリットであると思う。

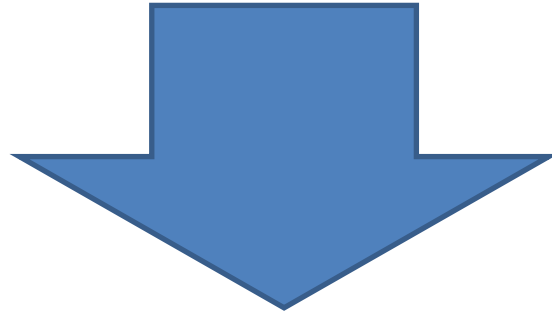
大切なのは、高い投票率があり、かつ人々がしっかりとした意志をもって投票することだ。だから、より政治をもっていくことが、選挙をよりよくするために一番必要なものだと考える。

生徒A・Bと生徒C・Dについて

指導案P5～6「対話の重視」との  
関連から

**④本時以降の授業について  
(7時間目)**

# 6時間の授業のまとめ



**「(タイトル例) 将来の主権者として考えること」と題した意見文を作成し、新聞社に投稿する。**

氏名 ( XXXXXXXXXX )

遠い。政治参加は、私にと、ここ数年印象だ。た。24  
 3年後には私も有権者となる。そのとき、私はどのよ  
 うな気持ちで政治参加すればよいのだろうか。  
 今、現在、若者の棄権の増加という問題がある。有  
 権者にな、た私が「選挙に行、でも何も変わらな」  
 と、無力感や「政治家が信頼できな、公約が本当  
 に実現されるわけがな」という不信感を持、これ  
 ら棄権してしま、うだろう。しかし、私はしな、なぜ  
 なら棄権したら、他の誰かの一部の意見が通、しま  
 い、国民主権という大きな柱が傾きかぬな、からた。  
 では、私のように棄権しな、人を増すにはどうする  
 べきだろうか。答えは若者の感じている無力感や不信  
 感を取り除く、というところが重要な、方法である。  
 そこで私は言、たい。全国の高校で政治家が選挙  
 前に自分の政策や他の政治家の政策について討議する  
 会を開、く。政治家一人がテレビのニュースな  
 ので一方的に批判することが多、い。それではその批  
 判された政治家の評価が落ちるだけである。しかし提  
 案した私の方法ならリアルタイムで批判への反論が行  
 える。その反論が良、いものならば評価は上がるだろう。  
 このように近くで討議を聞くことで政治や政治家への  
 無力感、不信感を取り除けるだろう。  
 この提案が現実にな、らばいい、と思う。私、そして  
 未来の有権者のために。



選挙に行くことが  
 例として挙げられるかもしれないが  
 単純に政治に興味関心を持つ  
 考え、悩むことも政治参加  
 といえるんじゃないかな？  
 有権者の高齢化 → 若者中心  
 党が多すぎたのではない、このこと  
 克服



日本国民の政治参加  
 氏名 ( XXXXXXXXXX )



氏名（ XXXXXXXXXX ）

「義務投票制で投票率が高いのは、自由投票制で<sup>24</sup>高い方が多い。逆に自由投票制で高くなることを意味すると思う。これは、以前私が社会の授業で主張したことだ。オーストラリア、ベルギーなどの国々は義務投票制、日本、ベトナムなどその他の国々は自由投票制。義務投票制の国々の投票率が高いのはあたりまえ。義務だからだ。一方、自由投票制の国々は、日本のように投票率が高い国々もあればベトナムのように高い国々もある。「ベトナムの有権者は政治に関心が高い。」それは、本当なのか。投票時間延長が可能だ。たり、代理投票が可能だ。たりするベトナム。投票時間内に行くことに意味があると考えればたまたま、この制度は必要なのと考える。時間内に来ないというところは、そこまで関心が高くなるということも考えられる。また、代理投票に関しては言語道断、意味がない。「一人一票」という基本的な考えがとずれ「一人複数票」ということまで考えられる。それは全く意味がない。つまり、私は政策として投票率をあげるのではなく、日本人の意識改革を促さなければならないと思う。「若者の意識」これが変わらなければ限り日本の投票率があがることはないと思う。政策をすすめるのではなく、ちよっとした取り直しをするべきだ。投票所を増やす、時間を長くするなど。日本の投票率が高くなる日は来るのか。「意識改革」に限る。

必須条件は三

選挙、立候補、被選挙権、選挙権

日本国民の政治参加  
氏名 ( XXXXXXXXXX )

